

# ソーシャルICTの実証的研究開発を推進 ～地域社会に浸透する新しいICTサービスの社会実装に挑戦～

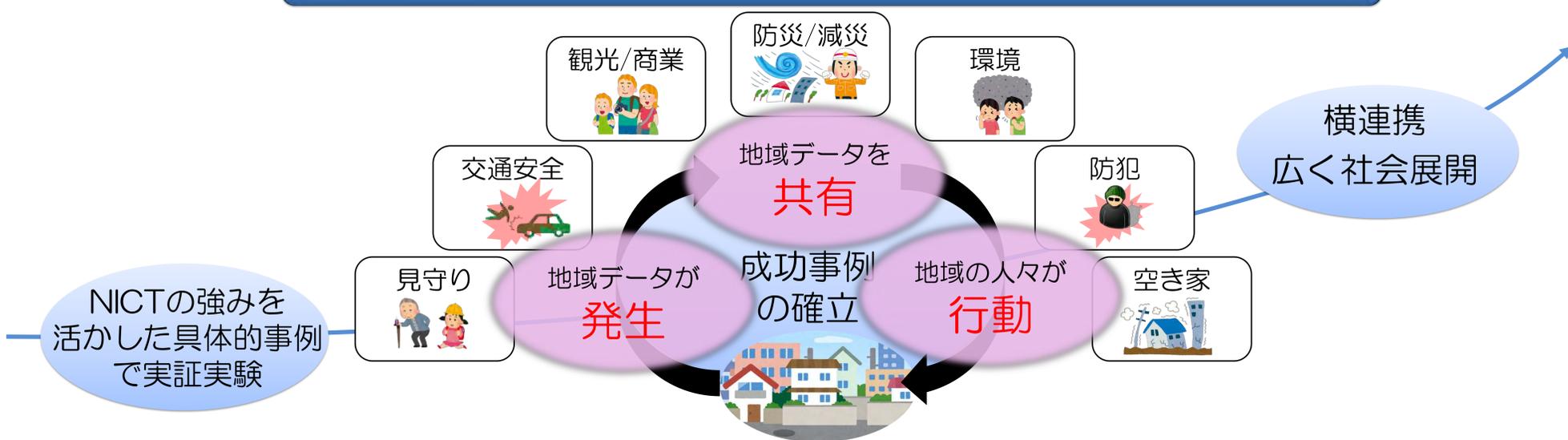
## 研究室概要

ソーシャルICTシステム研究室では、スマートメータ基盤用途で開発された世界標準IoT無線通信規格Wi-SUNなどを活用し、新しいIoTサービスを地域に浸透させるための実証実験を推進しています。

## 研究活動概要

当研究室は下図の3つの戦略に基づき活動を行っています。

### 戦略① “データの地産地消” で地域の課題は地域で解決



### 戦略② 社会に浸透済み資源を “緩くつなぐ”



### 戦略③ 人流・物流に “データの流通” も託す



## 研究成果（実績）

タクシー会社や飲料メーカーのご協力の下、徘徊高齢者の見守りサービス、子供の飛び出し検出・通知サービス、タクシー乗客発見支援サービスなどの実証実験を実施しています。

# 自動販売機とタクシーを“緩くつなげた” 共創型地域IoTサービス基盤のプロトタイプを実証中 ～高齢者等の見守りから乗客発見支援サービスまで～

## 共創型地域IoTサービス基盤プロトタイプ

東京都墨田区内の自動販売機やタクシーに無線通信規格Wi-SUNを用いるIoT無線ルータを搭載し、地域IoTサービス基盤のプロトタイプを構築しています。

Wi-SUNは920MHz帯を用いる免許不要のスマートメータ用無線通信規格として2023年度末には全国7800万世帯に普及する予定であり、今後更なるIoTサービス用途としての利用が期待されています。



※設置数は2019年3月末現在

## 実証実験を実施中のサービス事例



### 地域で高齢者/子供を“ながら見守り” (WiWi-Mimamori)

- ▶ コミュニティ参加型徘徊高齢者の搜索サービス
- ▶ 見守り対象者を「見かけたらタップ」するだけの簡単な仕組み



Android上で動作する  
アプリイメージ

② 地域ネットワークで共有



### 見えない“飛び出し”を注意喚起 (WiWi-Alert)

- ▶ 子供の飛び出しをWi-SUNビーコンで検知し運転手へ警告
- ▶ 振動検知で動作する仕組みにより端末内電池の長寿命化を実現



子供が所持する  
ビーコン端末

飛び出しスポット接近中  
この先 錦糸公園前交差点 100メートル圏内



運転手向け  
注意喚起アプリ

② 地域ネットワークで共有



### タクシーによる“ながら”乗客発見支援 (WiWi-Taxi)

- ▶ タクシー運転手間の情報共有を車々間通信により実現
- ▶ 街で見かけたお客様の情報を1タップでお手軽共有



乗客発見時の  
操作イメージ



お客様情報  
受信イメージ